

## 第2章 障害福祉サービス等の実績

### 1 受給者数と利用者数の概況

平成15年4月から支援費制度が導入され、平成18年4月からは障害福祉サービスに変更されています。

#### ● 居宅生活支援費及び障害福祉サービス受給者数と利用者数の推移

居宅生活支援費及び障害福祉サービス受給者数と利用者数をみると、平成15年4月から平成17年10月で受給者、サービス利用者ともに概ね増加傾向となっています。居宅生活支援費に入っていたガイドヘルプサービスが障害者自立支援法の全面施行により平成18年10月に地域生活支援事業へ移行したことなどから、平成18年4月から平成18年10月にかけて身体障害者、知的障害者、障害児において障害福祉サービスの受給者数及び利用者数が大きく変化しています。

障害者自立支援法の全面施行された平成18年10月以降について、利用者数は概ね増加傾向にあります。身体障害者の利用者数は平成20年4月には平成18年10月の345人から25人増の370人となっています。知的障害者では平成18年10月以降、受給者数、利用者数ともに増加傾向にあります。知的障害者の利用者数をみると、平成20年4月には平成18年10月の91人から66人増の157人となっています。障害児の利用者数をみると、平成20年4月には平成18年10月の18人から17人増の35人となっています。障害児についても平成18年10月以降、受給者数、利用者数ともに概ね増加傾向にあります。

精神障害者については平成18年4月から障害福祉サービスの対象となりました。平成18年4月から受給者数、利用者数ともに増加傾向にあります。精神障害者の利用者数をみると、平成20年4月には平成18年4月の105人から120人増の225人となっています。

表 居宅生活支援費及び障害福祉サービス受給者数と利用者数の推移

(単位：人)

		平成15年	平成16年	平成17年		平成18年		平成19年		平成20年
		4月	4月	4月	10月	4月	10月	4月	10月	4月
実受 人給 数者 ・	身体	657	742	775	761	761	427	481	440	461
	知的	552	660	740	769	738	157	232	244	250
	精神					118	145	174	202	276
	障害児	139	252	336	378	412	38	45	44	46
	合計	1,348	1,654	1,851	1,908	2,029	767	932	930	1,033
実利サ 人用 数者 ・ス	身体	518	596	621	600	563	345	334	364	370
	知的	365	482	548	575	566	91	115	136	157
	精神					105	117	135	159	225
	障害児	50	176	184	253	238	18	34	34	35
	合計	933	1,254	1,353	1,428	1,472	571	618	693	787

\* 平成18年4月から居宅生活支援費受給者証は障害福祉サービス受給者証となりました。

\* 精神障害者については平成18年4月より数値を把握しています。

資料：東大阪市障害者支援室

## ● 居宅生活支援サービス及び障害福祉サービスの利用率

受給者数に対するサービス利用者数の比率を利用率としてみると、身体障害者では平成19年10月以降80%前後で推移しています。知的障害者では平成19年10月以降60%前後で推移しています。精神障害者では平成18年10月以降80%前後で推移しています。障害児では平成18年10月に半数をわる利用率でしたが、平成19年4月以降は70%台後半で推移しています。

表 居宅生活支援サービス及び障害福祉サービスの利用率

(単位：%)

	平成15年	平成16年	平成17年		平成18年		平成19年		平成20年
	4月	4月	4月	10月	4月	10月	4月	10月	4月
身体障害者	78.8%	80.3%	80.1%	78.8%	74.0%	80.8%	69.4%	82.7%	80.3%
知的障害者	66.1%	73.0%	74.1%	74.8%	76.7%	58.0%	49.6%	55.7%	62.8%
精神障害者					89.0%	80.7%	77.6%	78.7%	81.5%
障害児	36.0%	69.8%	54.8%	66.9%	57.8%	47.4%	75.6%	77.3%	76.1%

\* 平成18年4月から居宅生活支援費受給者証は障害福祉サービス受給者証となりました。

\* 精神障害者については平成18年4月より数値を把握しています。

資料：東大阪市障害者支援室

## ● 施設訓練等支援費受給者数の推移

施設訓練等支援費受給者数の推移をみると、施設から地域に移行する流れの中で、また施設の新体系サービスへの移行にともない、受給者数が平成18年10月の775人を頂点に減少傾向となり、平成20年4月には443人となっています。

表 施設訓練等支援費受給者数の推移（旧法施設分）

(単位：人)

		平成15年	平成16年	平成17年		平成18年		平成19年		平成20年
		4月	4月	4月	10月	4月	10月	4月	10月	4月
実受給者数	身体	125	120	123	121	118	170	122	99	79
	知的	575	590	632	644	649	605	493	401	364
	合計	700	710	755	765	767	775	615	500	443

資料：東大阪市障害者支援室

## ● 新体系 日中活動系サービス利用者数の推移

日中活動系サービスの利用者の内、身体障害者では、平成18年10月から平成19年10月まで利用者数が増加傾向にありましたが、平成20年4月には減少し、146人となっています。知的障害者では平成20年4月には405人となり、平成18年10月の16人から増加傾向が続いています。精神障害者では平成19年4月以降、半年ごとに2人増えて平成20年4月には7人となっています。

表 新体系 日中活動系サービス利用者数の推移

		平成18年	平成19年		平成20年
		10月	4月	10月	4月
サービス実人数利用	身体	39	126	155	146
	知的	16	206	303	405
	精神	0	3	5	7
	合計	55	335	463	558

資料：東大阪市障害者支援室

● 新体系 施設入所サービス利用者数の推移

施設入所サービスの利用者の内、身体障害者では平成19年4月から平成20年4月まで利用者数が5人前後で推移しています。知的障害者の利用者数は平成19年4月の6人から平成20年4月には17人まで増加しています。

表 新体系 施設入所サービス利用者数の推移

		平成18年		平成19年		平成20年	
		10月		4月		4月	
実利用者数・サービス	身体	1	5	4	6		
	知的	0	6	7	17		
	合計	1	11	11	23		

資料：東大阪市障害者支援室

● 障害程度区分への満足度

障害者ニーズ調査の結果から障害程度区分への満足度をみると、身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者、全体ともに「とても満足している」と「やや満足している」を合わせた「満足している」(68.5%、69.4%、67.6%、69.2%)が「やや不満である」と「とても不満である」を合わせた「不満である」を上回っており、いずれも3倍以上となっています。本市における認定方式がある程度評価されていることがうかがえます。

表 障害程度区分への満足度

	全体		身体障害者手帳所持者		療育手帳所持者		精神障害者保健福祉手帳所持者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
とても満足している	230	19.9%	116	19.5%	98	17.4%	48	27.7%
やや満足している	569	49.3%	292	49.0%	293	52.0%	69	39.9%
やや不満である	138	11.9%	76	12.8%	59	10.5%	25	14.5%
とても不満である	63	5.5%	37	6.2%	28	5.0%	13	7.5%
無回答	155	13.4%	75	12.6%	86	15.2%	18	10.4%
合計	1,155	100.0%	596	100.0%	564	100.0%	173	100.0%

資料：東大阪市「障害者ニーズ調査」(平成20年)

## 2 第1期計画の目標と実績の比較

● 福祉施設の入所者の地域生活への移行の現状と目標

府立の金剛コロニーや砂川センターなど大規模入所施設からの退所以外にも民間入所施設からの地域移行が進んできています。福祉施設の入所者の地域生活への移行の現状と目標をみると、平成17年10月の入所者数に対する削減した人数の比率は、平成19年10月が8.8%で平成18年10月の1.6%から7.2ポイント増加しています。

表 福祉施設の入所者の地域生活への移行の現状と第1期計画の目標

(単位：人、%)

	平成17年 10月	平成18年 10月	平成19年 10月	平成23年度末の 目標 (第1期計画)
入所者数	306	301	279	283
平成17年10月以降の削減数	—	5	27	23
平成17年10月の入所者数に対する削減した人数の比率	—	1.6%	8.8%	7.5%
地域生活移行者数（施設入所からグループホームやケアホーム等へ移行した数）	—	—	2	70

\* 施設入所から地域生活に移行する方の数値目標は大阪府が示している各施設種類の「地域移行対象者」の出現率に基づいて算出した人数です。新たに施設に入所される方も加味して、平成23年度末時点の施設入所者数を23人（7.5%）削減することを目標としています。

資料：東大阪市障害者支援室

● 入院中の精神障害者の地域生活への移行の目標と実績

退院促進事業にもとづいて退院した方は平成18年度で3人、平成19年度では5人とまだまだ少ない状況ですが、入院中の精神障害者の地域生活への移行の目標と実績をみると、事業を使わずに退院して地域で生活を続けている方が多くいることがわかります。退院促進事業をはじめとして目標達成に向けた取り組みの強化が問われています。

表 入院中の精神障害者の地域生活への移行の現状と第1期計画の目標

(単位：人)

	平成19年度までの実績 (累積)	平成23年度末の 目標 (第1期計画)
退院可能精神障害者の内、退院した人数	37	減少見込97

\* 退院可能精神障害者とは、大阪府の平成17年度の精神科在院患者調査結果算出したもので、本市で該当する方は113人です。

資料：東大阪市保健所健康づくり課

● 福祉施設から一般就労への移行の現状と目標

平成19年度に福祉施設から一般就労に移行した人数は34人で平成17年度の2.6倍となっています。

表 福祉施設から一般就労への移行の現状と第1期計画の目標

(単位：人、倍)

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成23年度末の 目標 (第1期計画)
福祉施設を退所し、一般就労に移行した人数（年間）	13	6	34	52
平成17年度に対して何倍か	—	0.46倍	2.6倍	4倍

資料：東大阪市障害者支援室

### 3 訪問系サービス・短期入所（ショートステイ）

#### ● 訪問系サービスの見込量と実績

訪問系サービスの見込量と実績をみると、平成20年度において他の障害のある人では実績値が見込量を下回っていますが、身体障害者では実績値が見込量を上回っており、進捗率は134.9%となっています。平成20年度の合計をみると、進捗率は100%近くまで到達しています。

表 訪問系サービスの見込量と実績

(単位：時間分)

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
身体障害者	見込量	16,562	16,730	16,900
	実績	14,890	20,067	22,804
	進捗率	89.9%	119.9%	134.9%
知的障害者	見込量	5,174	5,700	6,270
	実績	2,214	3,363	3,229
	進捗率	42.8%	59.0%	51.5%
精神障害者	見込量	4,280	5,000	5,880
	実績	1,725	1,855	2,893
	進捗率	40.3%	37.1%	49.2%
障害児	見込量	720	760	800
	実績	404	576	715
	進捗率	56.1%	75.8%	89.4%
合計	見込量	26,736	28,190	29,850
	実績	19,233	25,861	29,641
	進捗率	71.9%	91.7%	99.3%

- \* 平成18年度の実績は平成19年3月現在
- \* 平成19年度の実績は平成20年3月現在
- \* 平成20年度の実績は平成20年8月現在
- \* 単位はすべて月単位です。

資料：東大阪市障害者支援室

#### ● 訪問系サービスの利用状況

訪問系サービスの利用状況をみると、平成19年から平成20年にかけて身体障害者、知的障害者、精神障害者、障害児のいずれの場合でも利用者は増加しています。ホームヘルプサービスの利用者は障害者自立支援法の施行前から増加傾向にあります。また、精神障害者の利用者は措置制度では週2回程度と利用制限がなされていたため、障害者自立支援法施行後は急速にサービスの利用が広がり、他の利用者よりも増加率が高くなっています。

表 訪問系サービスの利用状況

(単位：実人数)

	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
身体障害者利用者	196	259	296	294	295	327
知的障害者利用者	45	91	149	147	136	167
精神障害者利用者	0	42	99	105	146	208
障害児利用者	8	19	20	22	37	40

- \* 平成18年までは4月現在
- \* 平成18年まではホームヘルプサービスの利用者
- \* 平成19年以降は各3月で訪問系サービスの利用者（居宅介護、重度訪問介護、行動援護、重度障害者等包括支援の利用者）の合計となっています。

資料：東大阪市障害者支援室

● 居宅介護利用者数の推移

表 居宅介護利用者数の推移

(単位：実人数)

	平成19年 3月	平成20年 3月	平成20年 8月
身体障害者	225	251	250
知的障害者	95	128	124
精神障害者	146	208	246
障害児	28	32	29

資料：東大阪市障害者支援室

● 重度訪問介護利用者数の推移

表 重度訪問介護利用者数の推移

(単位：実人数)

	平成19年 3月	平成20年 3月	平成20年 8月
身体障害者	70	76	76
知的障害者	0	0	0
精神障害者	0	0	0
障害児	0	0	0

資料：東大阪市障害者支援室

● 行動援護利用者数の推移

表 行動援護利用者数の推移

(単位：実人数)

	平成19年 3月	平成20年 3月	平成20年 8月
身体障害者	0	0	0
知的障害者	41	39	36
精神障害者	0	0	0
障害児	9	8	7

資料：東大阪市障害者支援室

● 重度障害者等包括支援利用者数の推移

表 重度障害者等包括支援利用者数の推移

(単位：実人数)

	平成19年 3月	平成20年 3月	平成20年 8月
身体障害者	0	0	0
知的障害者	0	0	0
精神障害者	0	0	0
障害児	0	0	0

資料：東大阪市障害者支援室

## ● 訪問系サービスの満足度

障害者ニーズ調査の結果から訪問系サービスの満足度をみると、訪問系サービスを利用している方の内、満足（「とても満足している」と「やや満足している」の合計）は 64.9%で不満（「やや不満である」と「とても不満である」の合計）（20.5%）を 44.4 ポイント上回っています。

手帳別にみると、「とても満足している」と「やや満足している」の合計は精神障害者保健福祉手帳所持者の 75.2%が最も高く、次いで身体障害者手帳所持者の 65.4%となっています。一方、「やや不満」と「とても不満である」の合計は身体障害者手帳所持者の 23.2%が最も高くなっています。

表 訪問系サービスの満足度

	全体		身体障害者手帳所持者		療育手帳所持者		精神障害者保健福祉手帳所持者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
とても満足している	165	28.9%	96	27.2%	33	17.8%	48	47.5%
やや満足している	205	36.0%	135	38.2%	59	31.9%	28	27.7%
やや不満である	94	16.5%	63	17.8%	35	18.9%	15	14.9%
とても不満である	23	4.0%	19	5.4%	6	3.2%	1	1.0%
無回答	83	14.6%	40	11.3%	52	28.1%	9	8.9%
合計	570	100.0%	353	100.0%	185	100.0%	101	100.0%

資料：東大阪市「障害者ニーズ調査」（平成20年）

## ● 訪問系サービスで不満に感じていること

障害者ニーズ調査の結果から訪問系サービスで不満に感じていることをみると、訪問系サービスに不満を感じている方の内、「利用できる時間が少ない」が 57.3%で最も多く、次いで「事業所やヘルパーの数が少ない」（43.6%）となっています。

手帳別にみると、身体障害者手帳所持者と精神障害者保健福祉手帳所持者では「利用できる時間が少ない」（58.5%、50.0%）が最も多くなっていますが、療育手帳所持者では「事業所やヘルパーの数が少ない」（61.0%）が最も多くなっています。

表 訪問系サービスで不満に感じていること（複数回答）

	全体		身体障害者手帳所持者		療育手帳所持者		精神障害者保健福祉手帳所持者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用できる時間が少ない	67	57.3%	48	58.5%	18	43.9%	8	50.0%
事業所やヘルパーの質が問題	38	32.5%	30	36.6%	8	19.5%	3	18.8%
事業所やヘルパーの数が少ない	51	43.6%	38	46.3%	25	61.0%	2	12.5%
その他	16	13.7%	10	12.2%	3	7.3%	4	25.0%
有効回答数	117	100.0%	82	100.0%	41	100.0%	16	100.0%

資料：東大阪市「障害者ニーズ調査」（平成20年）

● 訪問系サービスの中での医療的ケアの需要

障害者ニーズ調査の結果から訪問系サービスの中での医療的ケアの需要についてみると、訪問系サービスを利用している方の内、「受けなくてもよい」が47.9%で、「受けたい（続けたい）」（36.3%）を11.6ポイント上回っています。

手帳別にみると、身体障害者手帳所持者と療育手帳所持者では「受けなくてもよい」（43.3%、52.4%）が「受けたい（続けたい）」（41.1%、23.8%）を上回っていますが、精神障害者保健福祉手帳所持者では「受けたい（続けたい）」（46.5%）が「受けなくてもよい」（43.6%）を上回っています。

表 訪問系サービスの中での医療的ケアの需要

	全体		身体障害者手帳所持者		療育手帳所持者		精神障害者保健福祉手帳所持者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
受けたい（続けたい）	207	36.3%	145	41.1%	44	23.8%	47	46.5%
受けなくてもよい	273	47.9%	153	43.3%	97	52.4%	44	43.6%
無回答	90	15.8%	55	15.6%	44	23.8%	10	9.9%
合計	570	100.0%	353	100.0%	185	100.0%	101	100.0%

資料：東大阪市「障害者ニーズ調査」（平成20年）



● 短期入所（ショートステイ）の見込量と実績

平成19年度の短期入所（ショートステイ）の見込量と実績をみると、身体障害者では実績値が見込量を上回っていますが、知的障害者と障害児では実績値が見込量を下回っています。

表 短期入所（ショートステイ）の見込量と実績

(単位：人日分)

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
身体障害者	見込量	226	248	270
	実績	331	428	—
	進捗率	146.5%	172.6%	—
知的障害者	見込量	1,104	1,320	1,342
	実績	1,024	1,067	—
	進捗率	92.8%	80.8%	—
精神障害者	見込量	0	0	0
	実績	0	0	—
	進捗率	—	—	—
障害児	見込量	304	330	347
	実績	174	206	—
	進捗率	57.2%	62.4%	—
合計	見込量	1,634	1,898	1,959
	実績	1,529	1,701	—
	進捗率	93.6%	89.6%	—

\* 平成18年度の実績は平成19年3月現在

\* 平成19年度の実績は平成20年3月現在

資料：東大阪市障害者支援室

● 市内の短期入所（ショートステイ）提供事業所数の推移

市内の短期入所（ショートステイ）提供事業所数の推移をみると、障害者用は平成19年に1箇所増加して平成20年現在で11箇所となっています。障害児用は平成18年以降、3箇所ですべて推移しています。

表 市内の短期入所（ショートステイ）提供事業所数の推移

(単位：箇所)

参考	平成15年	平成16年	平成17年
身体障害者	2	2	2
知的障害者	7	8	9
精神障害者	0	0	0
障害児	3	3	3

  

	平成18年	平成19年	平成20年
障害者	10	11	11
障害児	3	3	3

\* 10月1日現在

\* 平成17年までは支援費制度のサービス

\* 平成18年からは障害者自立支援法に基づくサービス

\* 平成18年から障害児は障害者の内数

資料：東大阪市障害者支援室

## ● 短期入所（ショートステイ）の満足度

障害者ニーズ調査の結果から短期入所（ショートステイ）の満足度をみると、利用している方の内、障害者では満足（「とても満足している」と「やや満足している」の合計）が66.8%で不満（「やや不満である」と「とても不満である」の合計）（31.4%）を上回っていますが、障害児では満足（「とても満足している」と「やや満足している」の合計）が34.9%で不満（「やや不満である」と「とても不満である」の合計）（65.2%）を下回っています。

表 短期入所（ショートステイ）の満足度

	全体		障害者		障害児	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
とても満足している	69	26.0%	63	28.6%	5	11.6%
やや満足している	94	35.5%	84	38.2%	10	23.3%
やや不満である	67	25.3%	49	22.3%	18	41.9%
とても不満である	30	11.3%	20	9.1%	10	23.3%
無回答	5	1.9%	4	1.8%	0	0.0%
合計	265	100.0%	220	100.0%	43	100.0%

資料：東大阪市「障害者ニーズ調査」（平成20年）

## ● 短期入所（ショートステイ）で不満に感じていること

障害者ニーズ調査の結果から短期入所（ショートステイ）で不満に感じていることをみると、短期入所（ショートステイ）に不満を感じている方の内、障害者も障害児もともに「緊急の時に利用しにくい」（65.2%、85.7%）が最も多く、次いで「利用できる時間が少ない」（43.5%、64.3%）となっています。

表 短期入所（ショートステイ）で不満に感じていること（複数回答）

	全体		障害者		障害児	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用できる時間が少ない	48	49.5%	30	43.5%	18	64.3%
事業所の質が問題	17	17.5%	12	17.4%	5	17.9%
施設内でのサービスの質が問題	28	28.9%	21	30.4%	7	25.0%
緊急の時に利用しにくい	69	71.1%	45	65.2%	24	85.7%
その他	31	32.0%	21	30.4%	10	35.7%
有効回答数	97	100.0%	69	100.0%	28	100.0%

資料：東大阪市「障害者ニーズ調査」（平成20年）

## 4 日中活動系サービス

### ● 生活介護の見込量と実績

生活介護の見込量と実績をみると、身体障害者、知的障害者ともに実績値は増加しているものの、平成20年度の進捗率は身体障害者が62.0%、知的障害者が98.9%となっています。精神障害者では平成20年8月に4人日分の実績となっています。

表 生活介護の見込量と実績

		(単位：人日分)		
		平成18年度	平成19年度	平成20年度
身体障害者	見込量	1,089	2,848	2,939
	実績	175	1,267	1,821
	進捗率	16.1%	44.5%	62.0%
知的障害者	見込量	3,889	4,666	5,600
	実績	624	4,142	5,537
	進捗率	16.0%	88.8%	98.9%
精神障害者	見込量	2	6	1,028
	実績	0	0	4
	進捗率	0.0%	0.0%	0.4%
合計	見込量	4,980	7,520	9,567
	実績	799	5,409	7,362
	進捗率	16.0%	71.9%	77.0%

\* 平成18年度の実績は平成19年3月現在

\* 平成19年度の実績は平成20年3月現在

\* 平成20年度の実績は平成20年8月現在

資料：東大阪市障害者支援室

### ● 日中活動系サービスの満足度

障害者ニーズ調査の結果から日中活動系サービスの満足度をみると、どのサービスにおいても「満足している」が「不満である」の比率を上回っています。「満足している」では「地域活動支援センターⅡ型・Ⅲ型」が84.8%で最も多く、次いで「就労移行支援」(82.4%)、「児童デイサービス」(80.8%)となっています。

表 日中活動系サービスの満足度

	満足している 〔「満足」 + 「やや満足」〕	不満である 〔「やや不満」 + 「不満」〕
児童デイサービス	21 80.8%	5 19.2%
療養介護	23 65.7%	10 28.6%
生活介護	250 78.6%	52 16.4%
自立訓練	91 67.9%	40 29.9%
就労移行支援	28 82.4%	6 17.6%
就労継続支援	32 69.6%	12 26.1%
地域活動支援センターⅠ型	47 74.6%	16 25.4%
地域活動支援センターⅡ型・Ⅲ型	67 84.8%	11 13.9%
日中一時支援	58 63.0%	33 35.9%

資料：東大阪市「障害者ニーズ調査」(平成20年)

## ● 自立訓練の見込量と実績

自立訓練の見込量と実績をみると、知的障害者では実績値・進捗率ともに平成18年度から増えており、平成20年度の実績値は144人日分となっています。身体障害者では平成19年度、平成20年度の実績値が40人日分前後となっています。精神障害者では平成20年8月現在の実績値がありません。

表 自立訓練の見込量と実績

(単位：人日分)

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
身体障害者 (機能訓練)	見込量	75	115	115
	実績	14	42	39
	進捗率	18.7%	36.5%	33.9%
知的障害者 (生活訓練)	見込量	198	727	780
	実績	0	112	144
	進捗率	0.0%	15.4%	18.5%
精神障害者 (生活訓練)	見込量	0	0	789
	実績	0	0	0
	進捗率	—	—	0.0%
合計	見込量	273	842	1,684
	実績	14	154	183
	進捗率	5.1%	18.3%	10.9%

\* 平成18年度の実績は平成19年3月現在

\* 平成19年度の実績は平成20年3月現在

\* 平成20年度の実績は平成20年8月現在

資料：東大阪市障害者支援室

## ● 就労移行支援の見込量と実績

就労移行支援の見込量と実績をみると、いずれの障害者でも平成18年度から実績値が増加しており、平成20年度には身体障害者で151人日分、知的障害者で1,044人日分、精神障害者で41人日分の実績となっています。また、知的障害者では平成19年度以降、実績値が見込量を上回り、平成20年8月には進捗率が132.5%となっています。

表 就労移行支援の見込量と実績

(単位：人日分)

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
身体障害者	見込量	87	183	154
	実績	77	123	151
	進捗率	88.5%	67.2%	98.1%
知的障害者	見込量	254	685	788
	実績	225	891	1,044
	進捗率	88.6%	130.1%	132.5%
精神障害者	見込量	4	14	734
	実績	4	34	41
	進捗率	100.0%	242.9%	5.6%
合計	見込量	345	882	1,676
	実績	306	1,048	1,236
	進捗率	88.7%	118.8%	73.7%

\* 平成18年度の実績は平成19年3月現在

\* 平成19年度の実績は平成20年3月現在

\* 平成20年度の実績は平成20年8月現在

資料：東大阪市障害者支援室

### ● 就労継続支援A型の見込量と実績

就労継続支援A型の見込量と実績をみると、平成18年度、平成19年度はともに見込量・実績値がありませんが、平成20年8月には知的障害者で23人日分の実績となっています。

表 就労継続支援A型の見込量と実績

(単位：人日分)

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
身体障害者	見込量	0	0	41
	実績	0	0	0
	進捗率	—	—	—
知的障害者	見込量	0	0	117
	実績	0	0	23
	進捗率	—	—	19.7%
精神障害者	見込量	0	0	251
	実績	0	0	0
	進捗率	—	—	—
合計	見込量	0	0	409
	実績	0	0	23
	進捗率	—	—	5.6%

\* 平成18年度の実績は平成19年3月現在

\* 平成19年度の実績は平成20年3月現在

\* 平成20年度の実績は平成20年8月現在

資料：東大阪市障害者支援室

### ● 就労継続支援B型の見込量と実績

就労継続支援B型の見込量と実績をみると、平成20年8月現在の進捗率は身体障害者が26.7%、知的障害者が12.4%となっています。また、精神障害者では平成18年度、平成19年度はともに実績がありませんが、平成20年8月には34人日分の実績となっています。

表 就労継続支援B型の見込量と実績

(単位：人日分)

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
身体障害者	見込量	100	299	360
	実績	5	71	96
	進捗率	5.0%	23.7%	26.7%
知的障害者	見込量	277	8,315	8,445
	実績	14	796	1,051
	進捗率	5.1%	9.6%	12.4%
精神障害者	見込量	1	3	726
	実績	0	0	34
	進捗率	0.0%	0.0%	4.7%
合計	見込量	378	8,617	9,531
	実績	19	867	1,181
	進捗率	5.0%	10.1%	12.4%

\* 平成18年度の実績は平成19年3月現在

\* 平成19年度の実績は平成20年3月現在

\* 平成20年度の実績は平成20年8月現在

資料：東大阪市障害者支援室

● 療養介護の見込量と実績

療養介護の見込量と実績をみると、平成18年度の実績値は5人分、平成19年度以降は1人分増えて6人分となっています。

表 療養介護の見込量と実績

(単位：人分)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
見込量	5	19	19
実績	5	6	6
進捗率	100.0%	31.6%	31.6%

\* 平成18年度の実績は平成19年3月現在

\* 平成19年度の実績は平成20年3月現在

\* 平成20年度の実績は平成20年8月現在

資料：東大阪市障害者支援室

● 児童デイサービスの見込量と実績

児童デイサービスの見込量と実績をみると、実績値・進捗率ともに平成18年度から減少しており、平成20年8月の実績は216人日分となっています。

表 児童デイサービスの見込量と実績

(単位：人日分)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
見込量	1,100	1,265	1,293
実績	293	226	216
進捗率	26.6%	17.9%	16.7%

\* 平成18年度の実績は平成19年3月現在

\* 平成19年度の実績は平成20年3月現在

\* 平成20年度の実績は平成20年8月現在

資料：東大阪市障害者支援室

● 旧法施設支援の見込量と実績

旧法施設は平成23年度までに新体系サービスへの移行を目指しています。

表 旧法施設支援の見込量と実績

(単位：人日分)

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
身体障害者	見込量	2,372	417	347
	実績	1,001	79	101
	見込量に対する実績の比率	42.2%	18.9%	29.1%
知的障害者	見込量	11,764	2,893	2,297
	実績	4,314	4,431	3,478
	見込量に対する実績の比率	36.7%	153.2%	151.4%
精神障害者	見込量	6,906	8,252	5,603
	実績	5,016	5,016	5,016
	見込量に対する実績の比率	72.6%	60.8%	89.5%
合計	見込量	21,042	11,562	8,247
	実績	10,331	9,526	8,595
	見込量に対する実績の比率	49.1%	82.4%	104.2%

\* 平成18年度の実績は平成19年3月現在

\* 平成19年度の実績は平成20年3月現在

\* 平成20年度の実績は平成20年8月現在

\* 第1期計画の旧法施設支援の見込量は法定施設に加え法定外である小規模通所授産施設や小規模（福祉）作業所を加味した数値としています。このため実績においてもこのような施設を含んだ数値を提示しています。

資料：東大阪市障害者支援室

### ● 市内の日中活動系サービスの提供事業所の箇所数

これまでの法定外の通所施設が新体系サービスへの移行を進めていることもあり、平成20年10月現在、市内の日中活動系サービスの提供事業所は地域活動支援センターⅢ型が20箇所、次いで生活介護（14箇所）、日中短期入所（日中ショート）（8箇所）、就労継続支援B型（7箇所）となっています。

表 市内の日中活動系サービスの提供事業所の箇所数

(単位：箇所)

生活介護	14
療養介護	0
自立訓練（機能訓練）	0
自立訓練（生活介護）	1
就労移行支援	5
就労継続支援A型	0
就労継続支援B型	7
地域活動支援センターⅠ型	2
地域活動支援センターⅡ型	2
地域活動支援センターⅢ型	20
児童デイサービス	3
日中短期入所（日中ショート）	8
障害児タイムケア	2
基準該当生活介護	2

\* 平成20年10月1日現在

\* 同一の事業者が複数の施設を運営している場合は、サービスごとにそれぞれの施設をカウントしています。

資料：東大阪市障害者支援室

● 通所施設の内、旧法施設と小規模通所授産施設、小規模（福祉）作業所の現況

表 通所施設の内、旧法施設と小規模通所授産施設、小規模（福祉）作業所の現況

	施設名
知的障害者更生施設	第三ひびき作業所
知的障害者授産施設	ハイワークひびき 東大阪福祉作業所 えいじいくらふと 第二東福 花園分場
小規模通所授産施設	おきべ麦の家 ショップええもんや トウインクル ふれあい工房 ルツ エステル はっぴいプラザ 長堂 ひまわり
小規模（福祉）作業所	布施福祉作業所 三ノ瀬生活の場「くれよん」 つばさグループ「フレンズ」 れんげそう柏田生活の場 わかば会作業所 第二布施福祉作業所 サークル・シャボン玉 つばさグループ「ラン」 ひょうたん山福祉作業所 リサイクル「ラン」 自立生活センターいんくる 関西福祉企画 らくらくハウス 菱屋西ふれあいの場ゆめ 福祉作業所ドルフィン 松原福祉作業所 夢織り工房「空の木」 レインボー ピュアーハウス福祉作業所

\* 平成20年10月1日現在

資料：東大阪市障害者支援室



### ● 旧体系の通所施設の満足度

障害者ニーズ調査の結果から旧体系の通所施設の満足度についてみると、旧体系の通所施設を利用している方の内、満足（「とても満足している」と「やや満足している」の合計）が73.7%で、不満（「とても不満である」と「やや不満である」の合計）が19.9%となっています。

手帳別にみると、所持手帳にかかわらず、満足（66.7%、77.2%、70.3%）が不満（25.4%、16.9%、24.1%）を上回っています。

表 旧体系の通所施設の満足度

	全体		身体障害者手帳所持者		療育手帳所持者		精神障害者保健福祉手帳所持者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
とても満足している	111	28.7%	35	25.4%	87	28.7%	20	37.0%
やや満足している	174	45.0%	57	41.3%	147	48.5%	18	33.3%
やや不満である	59	15.2%	27	19.6%	39	12.9%	8	14.8%
とても不満である	18	4.7%	8	5.8%	12	4.0%	5	9.3%
無回答	25	6.5%	11	8.0%	18	5.9%	3	5.6%
合計	387	100.0%	138	100.0%	303	100.0%	54	100.0%

資料：東大阪市「障害者ニーズ調査」（平成20年）

### ● 旧体系の通所施設で困っていること

障害者ニーズ調査の結果から旧体系の通所施設で困っていることについてみると、旧体系の通所施設を利用している方の内、「工賃が低い」が34.9%で最も多く、次いで「利用者負担」（25.1%）となっています。

手帳別にみると、所持手帳にかかわらず「工賃が低い」（26.8%、35.6%、40.7%）が最も多くなっていますが、次いで、身体障害者手帳所持者と療育手帳所持者では「利用者負担」（24.6%、27.7%）、精神障害者保健福祉手帳所持者では「人間関係がうまくいかない」（25.9%）が多くなっています。

表 旧体系の通所施設で困っていること（複数回答）

	全体		身体障害者手帳所持者		療育手帳所持者		精神障害者保健福祉手帳所持者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用できる日数が少ない	17	4.4%	10	7.2%	9	3.0%	5	9.3%
事業所の質が問題	28	7.2%	17	12.3%	17	5.6%	4	7.4%
施設内のサービスの質が問題	32	8.3%	15	10.9%	21	6.9%	5	9.3%
利用者負担	97	25.1%	34	24.6%	84	27.7%	6	11.1%
施設がバリアフリーではない	13	3.4%	8	5.8%	7	2.3%	3	5.6%
施設に通いにくい	24	6.2%	11	8.0%	15	5.0%	7	13.0%
作業が忙しすぎる	21	5.4%	6	4.3%	15	5.0%	5	9.3%
障害特性にあった作業ではない	34	8.8%	14	10.1%	23	7.6%	7	13.0%
作業にやりがいを感じられない	32	8.3%	12	8.7%	17	5.6%	11	20.4%
良い指導者や相談者がいない	31	8.0%	13	9.4%	23	7.6%	4	7.4%
人間関係がうまくいかない	44	11.4%	10	7.2%	32	10.6%	14	25.9%
工賃が低い	135	34.9%	37	26.8%	108	35.6%	22	40.7%
その他	30	7.8%	13	9.4%	24	7.9%	3	5.6%
有効回答数	387	100.0%	138	100.0%	303	100.0%	54	100.0%

資料：東大阪市「障害者ニーズ調査」（平成20年）

## 5 居住系サービス

### ● グループホーム等の見込量と実績

ケアホーム・グループホームの見込量と実績をみると、身体障害者では平成18年度、平成19年度、平成20年8月の実績はともに5人分となっています。知的障害者の実績値は平成18年度から平成20年度で増加し、平成20年8月現在では245人分となっています。精神障害者の実績値は平成18年度から平成20年度で減少し、平成20年8月現在では43人分となっています。

表 ケアホーム・グループホームの見込量と実績

(単位：人分)

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
身体障害者	見込量	5	5	7
	実績	5	5	5
	進捗率	100.0%	100.0%	71.4%
知的障害者	見込量	219	245	273
	実績	200	242	245
	進捗率	91.3%	98.8%	89.7%
精神障害者	見込量	92	118	143
	実績	58	49	43
	進捗率	63.0%	41.5%	30.1%
合計	見込量	316	368	423
	実績	263	296	293
	進捗率	83.2%	80.4%	69.3%

\* 平成18年度の実績は平成19年3月現在

\* 平成19年度の実績は平成20年3月現在

\* 平成20年度の実績は平成20年8月現在

資料：東大阪市障害者支援室

### ● グループホーム等の利用状況

グループホーム等の利用状況をみると、知的障害者の利用者は平成15年から年々増加傾向にあり、平成20年では245人となっています。精神障害者の利用者は平成15年から年々増加傾向にありましたが、平成18年から減少傾向に転じ、平成20年8月現在で43人となっています。

表 グループホーム等の利用状況

(単位：実人数)

	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
知的障害者利用者	125	161	181	194	229	245
精神障害者利用者	63	68	69	56	48	43

\* 4月現在

\* 平成20年は8月現在

資料：東大阪市障害者支援室

● 市内のグループホーム等の箇所数の推移

表 市内のグループホーム等の箇所数の推移

(単位：箇所)

	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
身体障害者	1	1	1	1	1	1
知的障害者	30	37	43	47	49	54
精神障害者	12	12	12	12	9	12

\* 10月1日現在

\* 平成17年までは支援費制度、平成18年からは障害者自立支援法に基づくサービス

\* ケアホームを含んでいます。

資料：東大阪市障害者支援室

● グループホーム等の満足度

障害者ニーズ調査の結果からグループホーム等の満足度についてみると、現在グループホーム等を利用している方の内、満足（「とても満足している」と「やや満足している」の合計）が 83.9%で、不満（「とても不満である」と「やや不満である」の合計）が 15.4%となっています。

手帳別にみると、所持手帳にかかわらず、満足（85.2%、86.2%、82.4%）が不満（12.8%、13.9%、17.7%）を上回っています。

表 グループホーム等の満足度

	全体		身体障害者手帳所持者		療育手帳所持者		精神障害者保健福祉手帳所持者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
とても満足している	54	36.2%	20	42.6%	35	34.7%	12	35.3%
やや満足している	71	47.7%	20	42.6%	52	51.5%	16	47.1%
やや不満である	17	11.4%	2	4.3%	11	10.9%	2	5.9%
とても不満である	6	4.0%	4	8.5%	3	3.0%	4	11.8%
無回答	1	0.7%	1	2.1%	0	0.0%	0	0.0%
合計	149	100.0%	47	100.0%	101	100.0%	34	100.0%

資料：東大阪市「障害者ニーズ調査」（平成20年）

## ● 施設入所支援の見込量と実績

施設入所支援の見込量と実績をみると、身体障害者と知的障害者では平成18年度から実績値・進捗率がともに増加しています。平成20年3月現在の実績は身体障害者で4人分、知的障害者で12人分となっています。施設入所支援の人数は第1期計画で見込んだほどには増えていません。

表 施設入所支援の見込量と実績

(単位：人分)

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
身体障害者	見込量	21	62	67
	実績	1	3	4
	進捗率	4.8%	4.8%	6.0%
知的障害者	見込量	19	114	152
	実績	0	8	12
	進捗率	0.0%	7.0%	7.9%
精神障害者	見込量	0	0	0
	実績	0	0	0
	進捗率	—	—	—
合計	見込量	40	176	219
	実績	1	11	16
	進捗率	2.5%	6.3%	7.3%

\* 平成18年度の実績は平成19年3月現在

\* 平成19年度の実績は平成19年10月現在

\* 平成20年度の実績は平成20年3月現在

資料：東大阪市障害者支援室

## ● 旧法施設入所の見込量と実績

旧法施設が平成23年度までに新体系サービスへ移行することを目指しています。いずれの障害者においても平成18年度から平成19年度にかけて実績値が減少しています。精神障害者ではすでに0人分を達成していますが、身体障害者と知的障害者では第1期計画で見込んだほどには人数が減っていません。

表 旧法施設入所の見込量と実績

(単位：人分)

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
身体障害者	見込量	59	29	15
	実績	78	75	69
	見込量に対する実績の比率	132.2%	258.6%	460.0%
知的障害者	見込量	169	84	42
	実績	219	204	187
	見込量に対する実績	129.6%	242.9%	445.2%
精神障害者	見込量	3	1	1
	実績	0	0	0
	見込量に対する実績	0.0%	0.0%	0.0%
合計	見込量	231	114	58
	実績	297	279	256
	見込量に対する実績	128.6%	244.7%	441.4%

\* 平成18年度の実績は平成19年3月現在

\* 平成19年度の実績は平成19年10月現在

\* 平成20年度の実績は平成20年3月現在

資料：東大阪市障害者支援室

## ● 入所施設の満足度

障害者ニーズ調査の結果から入所施設の満足度についてみると、現在施設に入所している方の内、満足（「とても満足している」と「やや満足している」の合計）が72.7%で、不満（「とても不満である」と「やや不満である」の合計）が9.1%となっています。

手帳別にみると、件数の少ない精神障害者保健福祉手帳所持者を除いて、身体障害者手帳所持者・療育手帳所持者ともに満足（73.3%、72.7%）が不満（10.0%、9.1%）を上回っています。

表 入所施設の満足度

	全体		身体障害者手帳所持者		療育手帳所持者		精神障害者保健福祉手帳所持者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
とても満足している	15	19.5%	7	23.3%	12	18.2%	0	0.0%
やや満足している	41	53.2%	15	50.0%	36	54.5%	1	100.0%
やや不満である	6	7.8%	2	6.7%	5	7.6%	0	0.0%
とても不満である	1	1.3%	1	3.3%	1	1.5%	0	0.0%
無回答	14	18.2%	5	16.7%	12	18.2%	0	0.0%
合計	77	100.0%	30	100.0%	66	100.0%	1	100.0%

資料：東大阪市「障害者ニーズ調査」（平成20年）

## ● 地域で暮らすために必要なこと

障害者ニーズ調査の結果から地域で暮らすために必要なことについてみると、現在施設に入所している方の内、「世話をしてくれる人が来てくれるサービス」が28.6%で最も多く、次いで「障害特性にあった昼間の居場所」「わからない」（ともに24.7%）となっています。

手帳別にみると、件数の少ない精神障害者保健福祉手帳所持者を除いて、身体障害者手帳所持者では「わからない」（26.7%）、療育手帳所持者では「世話をしてくれる人が来てくれるサービス」（28.8%）が最も多くなっています。

表 地域で暮らすために必要なこと（複数回答）

	全体		身体障害者手帳所持者		療育手帳所持者		精神障害者保健福祉手帳所持者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
同じ障害のある人同士で住める場所	15	19.5%	5	16.7%	12	18.2%	0	0.0%
世話をしてくれる人が来てくれるサービス	22	28.6%	5	16.7%	19	28.8%	0	0.0%
医療的ケアをしてくれる人が来てくれるサービス	16	20.8%	4	13.3%	13	19.7%	0	0.0%
施設の外での生活の練習ができること	13	16.9%	2	6.7%	11	16.7%	0	0.0%
障害特性にあった昼間の居場所	19	24.7%	4	13.3%	18	27.3%	0	0.0%
一般の会社で働くことを手伝ってくれるサービス	7	9.1%	1	3.3%	6	9.1%	0	0.0%
就職するための訓練	5	6.5%	0	0.0%	5	7.6%	0	0.0%
相談ができる場所や仲間	17	22.1%	5	16.7%	14	21.2%	0	0.0%
同じ障害のある人が集まる場所	12	15.6%	5	16.7%	9	13.6%	0	0.0%
わからない	19	24.7%	8	26.7%	17	25.8%	0	0.0%
その他	6	7.8%	3	10.0%	5	7.6%	0	0.0%
有効回答数	77	100.0%	30	100.0%	66	100.0%	1	100.0%

資料：東大阪市「障害者ニーズ調査」（平成20年）

## 6 地域生活支援事業

### ● 相談支援事業の見込量と実績

相談支援事業の実績値は第1期計画の見込通りとなっています。

表 相談支援事業の見込量と実績

		(単位：箇所)		
		平成18年度	平成19年度	平成20年度
障害者相談支援事業	見込量	8	8	8
	実績	8	8	8
地域自立支援協議会	見込量	1	1	1
	実績	1	1	1
障害児等療育支援事業	見込量	3	3	3
	実績	3	3	3
市町村相談支援機能強化事業	見込量	8	8	8
	実績	8	8	8
住宅入居等支援事業 (居住サポート事業)	見込量	8	8	8
	実績	8	8	8
成年後見制度利用支援事業	見込量	1	1	1
	実績	1	1	1

\* 平成18年度の実績は平成19年3月現在

\* 平成19年度の実績は平成20年3月現在

\* 平成20年度の実績は平成20年8月現在

資料：東大阪市障害者支援室

### ● 相談支援事業の認知度

障害者ニーズ調査の結果から相談事業の認知度についてみると、「福祉事務所における相談」が59.2%で最も多く、次いで「保健センター等における相談」(26.7%)、「療育センターにおける相談」(17.3%)となっています。

手帳別にみると、所持手帳にかかわらず「福祉事務所における相談」(59.6%、64.2%、52.3%)が最も多くなっています。次いで、身体障害者手帳所持者と精神障害者保健福祉手帳所持者では「保健センター等における相談」(24.8%、51.9%)、療育手帳所持者では「療育センターにおける相談」(35.1%)が多くなっています。

表 相談事業の認知度(複数回答)

	全体		身体障害者手帳所持者		療育手帳所持者		精神障害者保健福祉手帳所持者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
福祉事務所における相談	1,113	59.2%	640	59.6%	497	64.2%	139	52.3%
保健センター等における相談	502	26.7%	266	24.8%	157	20.3%	138	51.9%
相談支援事業者における相談	323	17.2%	164	15.3%	168	21.7%	45	16.9%
市や保健所での精神障害者の生活および社会復帰支援相談	161	8.6%	80	7.4%	44	5.7%	61	22.9%
保健士、栄養士、保育士などが行う乳幼児健康相談	229	12.2%	112	10.4%	124	16.0%	26	9.8%
障害者相談員による相談	250	13.3%	146	13.6%	125	16.1%	26	9.8%
ピアカウンセリング	127	6.8%	68	6.3%	49	6.3%	20	7.5%
社会福祉協議会などが行う相談	204	10.8%	125	11.6%	86	11.1%	25	9.4%
障害者就業・生活支援センターにおける相談	255	13.6%	111	10.3%	146	18.9%	33	12.4%
地域移行支援センターにおける相談	120	6.4%	64	6.0%	67	8.7%	10	3.8%
療育センターにおける相談	326	17.3%	119	11.1%	272	35.1%	11	4.1%
教育センターにおける相談	123	6.5%	56	5.2%	77	9.9%	8	3.0%
子育て支援センターにおける相談	144	7.7%	74	6.9%	76	9.8%	13	4.9%
子ども家庭センターにおける相談	193	10.3%	67	6.2%	137	17.7%	16	6.0%
ハローワークにおける相談	294	15.6%	145	13.5%	125	16.1%	53	19.9%
地域包括支援センターにおける相談	118	6.3%	80	7.4%	34	4.4%	12	4.5%
コミュニティソーシャルワーカーによる相談	110	5.8%	68	6.3%	42	5.4%	14	5.3%
どれも知らない	278	14.8%	172	16.0%	90	11.6%	35	13.2%
有効回答数	1,881	100.0%	1,074	100.0%	774	100.0%	266	100.0%

資料：東大阪市「障害者ニーズ調査」(平成20年)

● サービス利用計画作成の見込量と実績

サービス利用計画作成の見込量と実績をみると、いずれの障害者でも平成18年度の実績はありません。平成19年度には知的障害者で1人分、精神障害者で3人分の実績となっています。平成19年度現在で、身体障害者の実績はありません。

表 サービス利用計画作成の見込量と実績

(単位：人分)

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
身体障害者	見込量	1	65	65
	実績	0	0	—
	進捗率	0.0%	0.0%	—
知的障害者	見込量	1	65	65
	実績	0	1	—
	進捗率	0.0%	1.5%	—
精神障害者	見込量	1	40	50
	実績	0	3	—
	進捗率	0.0%	7.5%	—
合計	見込量	3	170	180
	実績	0	4	—
	進捗率	0.0%	2.4%	—

\* 平成18年度の実績は平成19年3月現在

\* 平成19年度の実績は平成20年3月現在

資料：東大阪市障害者支援室

● コミュニケーション支援事業の実績

コミュニケーション支援事業の実績をみると、手話通訳の人数は平成18年度の88人から平成19年度には110人分に増加しています。要約筆記は平成18年度に実績がありませんが、平成19年度には3人分の実績となっています。

表 コミュニケーション支援事業の実績

(単位：人分)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
手話通訳	88	110	—
要約筆記	0	3	—

\* 平成18年度の実績は平成19年3月現在

\* 平成19年度の実績は平成20年3月現在

資料：東大阪市障害者支援室

● 日常生活用具給付等事業の見込量と実績

日常生活用具給付等事業をみると、いずれの項目も平成18年度から平成19年度にかけての実績値が増加しています。

平成19年度の進捗率は排泄管理支援用具が127.8%で最も高く、次いで在宅療養等支援用具(92.0%)、情報・意思疎通支援用具(72.5%)となっています。

表 日常生活用具給付等事業の見込量と実績

(単位：件)

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
介護訓練支援用具	見込量	39	80	86
	実績	14	20	—
	進捗率	35.9%	25.0%	—
自立生活支援用具	見込量	133	277	289
	実績	38	129	—
	進捗率	28.6%	46.6%	—
在宅療養等支援用具	見込量	42	87	93
	実績	13	80	—
	進捗率	31.0%	92.0%	—
情報・意思疎通支援用具	見込量	95	193	198
	実績	38	140	—
	進捗率	40.0%	72.5%	—
排泄管理支援用具	見込量	2,704	5,639	5,891
	実績	2,918	7,206	—
	進捗率	107.9%	127.8%	—
住宅改修費	見込量	19	39	41
	実績	6	11	—
	進捗率	31.6%	28.2%	—

\* 平成18年度の実績は平成19年3月現在

\* 平成19年度の実績は平成20年3月現在

資料：東大阪市障害者支援室

● 移動支援事業の見込量と実績（身体障害者）

どちらの項目でも平成 18 年度から平成 19 年度にかけて身体障害者の移動支援事業の実績値・進捗率がともに増加しています。

平成 19 年度の利用者数は見込量を上回っています。

表 移動支援事業の見込量と実績（身体障害者）

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
利用者数 (人日分)	見込量	2,280	4,692	4,824
	実績	1,698	4,868	—
	進捗率	74.5%	103.8%	—
利用時間数 (時間)	見込量	70,224	144,516	148,584
	実績	38,722	112,130	—
	進捗率	55.1%	77.6%	—

\* 平成18年度の実績は平成19年3月現在、半年分

\* 平成19年度の実績は平成20年3月現在

資料：東大阪市障害者支援室

● 移動支援事業の見込量と実績（知的障害者）

どちらの項目でも平成 18 年度から平成 19 年度にかけて知的障害者の移動支援事業の実績値・進捗率がともに増加しています。

平成 19 年度の利用者数は見込量を上回っています。

表 移動支援事業の見込量と実績（知的障害者）

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
利用者数 (人日分)	見込量	2,622	5,400	5,556
	実績	2,850	6,093	—
	進捗率	108.7%	112.8%	—
利用時間数 (時間)	見込量	63,450	130,680	134,460
	実績	53,781	119,659	—
	進捗率	84.8%	91.6%	—

\* 平成18年度の実績は平成19年3月現在、半年分

\* 平成19年度の実績は平成20年3月現在

資料：東大阪市障害者支援室

● 移動支援事業の見込量と実績（精神障害者）

どちらの項目でも平成 18 年度から平成 19 年度にかけて精神障害者の移動支援事業の実績値が増加しています。

進捗率はあまり高くないものの、平成 18 年度から平成 19 年度にかけて増加しています。

表 移動支援事業の見込量と実績（精神障害者）

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
利用者数 (人日分)	見込量	2,820	5,640	5,760
	実績	30	268	—
	進捗率	1.1%	4.8%	—
利用時間数 (時間)	見込量	28,200	56,400	57,600
	実績	124	2,714	—
	進捗率	0.4%	4.8%	—

\* 平成18年度の実績は平成19年3月現在、半年分

\* 平成19年度の実績は平成20年3月現在

資料：東大阪市障害者支援室

● 移動支援事業の見込量と実績（障害児）

どちらの項目でも平成 18 年度から平成 19 年度にかけて障害児の移動支援事業の実績値・進捗率がともに増加しています。

平成 19 年度の利用者数は見込量を上回っています。

表 移動支援事業の見込量と実績（障害児）

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
利用者数 (人日分)	見込量	822	1,716	1,800
	実績	894	2,249	—
	進捗率	108.8%	131.1%	—
利用時間数 (時間)	見込量	17,262	36,036	37,800
	実績	11,060	34,310	—
	進捗率	64.1%	95.2%	—

\* 平成18年度の実績は平成19年3月現在、半年分

\* 平成19年度の実績は平成20年3月現在

資料：東大阪市障害者支援室



● 移動支援事業の見込量と実績（全体）

表 移動支援事業の見込量と実績（全体）

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
利用者数 (人日分)	見込量	8,544	17,448	17,940
	実績	5,472	13,478	—
	進捗率	64.0%	77.2%	—
利用時間数 (時間)	見込量	179,136	367,632	378,444
	実績	103,687	268,813	—
	進捗率	57.9%	73.1%	—

\* 平成18年度の実績は平成19年3月現在、半年分

\* 平成19年度の実績は平成20年3月現在

資料：東大阪市障害者支援室

● 地域活動支援センターの見込量と実績（機能強化事業）

地域活動支援センターの見込量と実績（機能強化事業）をみると、平成20年度の実績値と進捗率は、地域活動支援センターⅠ型と地域活動支援センターⅡ型では見込通りとなっていますが、地域活動支援センターⅢ型では実績が20箇所、進捗率が200.0%となっています。

表 地域活動支援センターの見込量と実績（機能強化事業）

（単位：箇所）

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
地域活動支援センターⅠ型	見込量	2	2	2
	実績	2	2	2
	進捗率	100.0%	100.0%	100.0%
地域活動支援センターⅡ型	見込量	0	2	2
	実績	0	2	2
	進捗率	—	100.0%	100.0%
地域活動支援センターⅢ型	見込量	0	5	10
	実績	0	8	20
	進捗率	—	160.0%	200.0%
合計	見込量	2	9	14
	実績	2	12	24
	進捗率	100.0%	133.3%	171.4%

\* 平成18年度の実績は平成19年3月現在

\* 平成19年度の実績は平成20年3月現在

\* 平成20年度の実績は平成20年10月現在

資料：東大阪市障害者支援室

● 日中一時支援事業の見込量と実績

日中一時支援事業の見込量と実績をみると、日中短期入所（日中ショート）事業分と全体のどちらも平成18年度から平成19年度にかけて実績値が増加しています。ただし、人分単位の利用者数では実績値が見込量を大きく上回っていますが、人日分単位の延べ利用者数では実績値が見込量を下回っています。

表 日中短期入所（日中ショート）事業の見込量と実績

		平成18 年度	平成19 年度	平成20 年度
利用者数 (人分)	見込量	384	445	459
	実績	347	836	—
	進捗率	90.4%	187.9%	—
利用者数 (人日分)	見込量	6,912	16,020	16,524
	実績	1,240	2,854	—
	進捗率	17.9%	17.8%	—

\* 平成18年度の実績は平成19年3月現在

\* 平成19年度の実績は平成20年3月現在

資料：東大阪市障害者支援室

表 日中一時支援事業の見込量と実績（全体）

		平成18 年度	平成19 年度	平成20 年度
利用者数 (人分)	見込量	404	470	489
	実績	479	1,178	—
	進捗率	118.6%	250.6%	—
利用者数 (人日分)	見込量	9,312	22,020	23,724
	実績	1,799	4,221	—
	進捗率	19.3%	19.2%	—

\* 平成18年度の実績は平成19年3月現在

\* 平成19年度の実績は平成20年3月現在

資料：東大阪市障害者支援室

### ● 訪問入浴サービス事業の見込量と実績

訪問入浴サービス事業の見込量と実績をみると、実績値は平成18年度から平成19年度にかけて増加しています。

表 訪問入浴サービス事業の見込量と実績

(単位：人日分)

		平成18 年度	平成19 年度	平成20 年度
利用者数	見込量	240	480	480
	実績	160	338	—
	進捗率	66.7%	70.4%	—

\* 平成18年度の実績は平成19年3月現在

\* 平成19年度の実績は平成20年3月現在

資料：東大阪市障害者支援室

### ● 生活サポート事業の見込量と実績

生活サポート事業の見込量と実績をみると、実績値は平成18年度、平成19年度ともありません。

表 生活サポート事業の見込量と実績

(単位：時間)

		平成18 年度	平成19 年度	平成20 年度
利用時間	見込量	780	1,560	1,560
	実績	0	0	—
	進捗率	0.0%	0.0%	—

\* 平成18年度の実績は平成19年3月現在

\* 平成19年度の実績は平成20年3月現在

資料：東大阪市障害者支援室

## 7 サービス全体の利用の変化について

### ● 利用できる福祉サービスの種類

障害者ニーズ調査の結果から利用できる福祉サービスの種類についてみると、「変わらない」が43.7%で最も多くなっています。また、「減った」(7.8%)が「増えた」(7.2%)を0.6ポイント上回っています。

手帳別にみると、所持手帳にかかわらず無回答を除いて「変わらない」(39.0%、52.1%、46.2%)が最も多くなっています。身体障害者手帳所持者と療育手帳所持者では「減った」(8.6%、8.5%)が「増えた」(6.6%、7.6%)を上回っていますが、精神障害者保健福祉手帳所持者では「増えた」(10.5%)が「減った」(6.4%)を上回っています。

表 利用できる福祉サービスの種類

	全体		身体障害者手帳所持者		療育手帳所持者		精神障害者保健福祉手帳所持者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
増えた	136	7.2%	71	6.6%	59	7.6%	28	10.5%
減った	147	7.8%	92	8.6%	66	8.5%	17	6.4%
変わらない	822	43.7%	419	39.0%	403	52.1%	123	46.2%
無回答	776	41.3%	492	45.8%	246	31.8%	98	36.8%
合計	1,881	100.0%	1,074	100.0%	774	100.0%	266	100.0%

資料：東大阪市「障害者ニーズ調査」(平成20年)

### ● 利用できる福祉サービスの量(時間・回数)

障害者ニーズ調査の結果から利用できる福祉サービスの量(時間・回数)についてみると、無回答を除いて、「変わらない」が38.5%で最も多くなっています。また、「増えた」(10.3%)が「減った」(9.3%)を1.0ポイント上回っています。

手帳別にみると、所持手帳にかかわらず無回答を除いて「変わらない」(35.0%、45.0%、42.5%)が最も多くなっています。また、所持手帳にかかわらず「増えた」(9.3%、11.6%、10.9%)が「減った」(9.0%、10.5%、8.3%)を上回っています。

表 利用できる福祉サービスの量(時間・回数)

	全体		身体障害者手帳所持者		療育手帳所持者		精神障害者保健福祉手帳所持者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
増えた	193	10.3%	100	9.3%	90	11.6%	29	10.9%
減った	174	9.3%	97	9.0%	81	10.5%	22	8.3%
変わらない	724	38.5%	376	35.0%	348	45.0%	113	42.5%
無回答	790	42.0%	501	46.6%	255	32.9%	102	38.3%
合計	1,881	100.0%	1,074	100.0%	774	100.0%	266	100.0%

資料：東大阪市「障害者ニーズ調査」(平成20年)

## ● 福祉サービスの質

障害者ニーズ調査の結果から福祉サービスの質についてみると、無回答を除いて、「変わらない」が41.1%で最も多くなっています。また、「悪くなった」(8.6%)が「良くなった」(5.2%)を3.4ポイント上回っています。

手帳別にみると、所持手帳にかかわらず無回答を除いて「変わらない」(38.0%、48.3%、42.5%)が最も多くなっています。身体障害者手帳所持者と療育手帳所持者では「悪くなった」(8.8%、9.3%)が「良くなった」(4.1%、5.2%)を上回っていますが、精神障害者保健福祉手帳所持者では「良くなった」(9.8%)が「悪くなった」(7.1%)を上回っています。

表 福祉サービスの質

	全体		身体障害者手帳所持者		療育手帳所持者		精神障害者保健福祉手帳所持者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
良くなった	97	5.2%	44	4.1%	40	5.2%	26	9.8%
悪くなった	161	8.6%	95	8.8%	72	9.3%	19	7.1%
変わらない	774	41.1%	408	38.0%	374	48.3%	113	42.5%
無回答	849	45.1%	527	49.1%	288	37.2%	108	40.6%
合計	1,881	100.0%	1,074	100.0%	774	100.0%	266	100.0%

資料：東大阪市「障害者ニーズ調査」(平成20年)

## ● あなたの介護をするヘルパー等の定着具合

障害者ニーズ調査の結果からあなたの介護をするヘルパー等の定着具合についてみると、無回答を除いて、「前から利用しているヘルパーは変わっていない」が25.5%で、「ヘルパー等がすぐ辞める・変わる」(11.5%)を14.0ポイント上回っています。

手帳別にみると、「ヘルパー等がすぐ辞める・変わる」が最も多いのは療育手帳所持者(14.3%)で、次いで身体障害者手帳所持者(11.8%)となっています。

表 あなたの介護をするヘルパー等の定着具合

	全体		身体障害者手帳所持者		療育手帳所持者		精神障害者保健福祉手帳所持者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
ヘルパー等がすぐ辞める・変わる	217	11.5%	127	11.8%	111	14.3%	23	8.6%
前から利用しているヘルパーは変わっていない	479	25.5%	277	25.8%	173	22.4%	80	30.1%
変わらない・利用していない	365	19.4%	165	15.4%	191	24.7%	60	22.6%
無回答	820	43.6%	505	47.0%	299	38.6%	103	38.7%
合計	1,881	100.0%	1,074	100.0%	774	100.0%	266	100.0%

資料：東大阪市「障害者ニーズ調査」(平成20年)

### ● あなたの介護をするヘルパー等の数の変化

障害者ニーズ調査の結果からあなたの介護をするヘルパー等の数の変化についてみると、無回答を除いて、「変わらない・利用していない」が37.5%で最も多くなっています。「ヘルパーの数が減って足りない」は13.6%で、「ヘルパーの数が増えた」(4.7%)を8.9ポイント上回っています。

手帳別にみると、所持手帳にかかわらず無回答を除いて「変わらない・利用していない」(34.3%、38.4%、47.0%)が最も多くなっています。「ヘルパーの数が減って足りない」が最も多いのは療育手帳所持者(20.7%)で、次いで身体障害者手帳所持者(12.9%)となっています。

表 あなたの介護をするヘルパー等の数の変化

	全体		身体障害者手帳所持者		療育手帳所持者		精神障害者保健福祉手帳所持者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
ヘルパーの数が増えた	89	4.7%	56	5.2%	28	3.6%	13	4.9%
ヘルパーの数が減って足りない	255	13.6%	139	12.9%	160	20.7%	21	7.9%
変わらない・利用していない	706	37.5%	368	34.3%	297	38.4%	125	47.0%
無回答	831	44.2%	511	47.6%	289	37.3%	107	40.2%
合計	1,881	100.0%	1,074	100.0%	774	100.0%	266	100.0%

資料：東大阪市「障害者ニーズ調査」(平成20年)

### ● サービスの利用しやすさ

障害者ニーズ調査の結果からサービスの利用しやすさについてみると、無回答を除いて、「変わらない」が38.2%で最も多くなっています。「利用しにくくなった」は12.2%で、「利用しやすくなった」(5.4%)を6.8ポイント上回っています。

手帳別にみると、所持手帳にかかわらず無回答を除いて「変わらない」(33.5%、43.2%、42.1%)が最も多くなっています。「利用しにくくなった」が最も多いのは療育手帳所持者(16.1%)で、次いで身体障害者手帳所持者(13.1%)となっています。

表 サービスの利用しやすさ

	全体		身体障害者手帳所持者		療育手帳所持者		精神障害者保健福祉手帳所持者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用しやすくなった	101	5.4%	53	4.9%	35	4.5%	26	9.8%
利用しにくくなった	230	12.2%	141	13.1%	125	16.1%	20	7.5%
変わらない	719	38.2%	360	33.5%	334	43.2%	112	42.1%
無回答	831	44.2%	520	48.4%	280	36.2%	108	40.6%
合計	1,881	100.0%	1,074	100.0%	774	100.0%	266	100.0%

資料：東大阪市「障害者ニーズ調査」(平成20年)

## ● サービスのわかりやすさ

障害者ニーズ調査の結果からサービスのわかりやすさについてみると、無回答を除いて、「変わらない」が33.2%で最も多くなっています。「わかりにくくなった」は18.4%で、「わかりやすくなった」(3.6%)を14.8ポイント上回っています。

手帳別にみると、所持手帳にかかわらず無回答を除いて「変わらない」(29.2%、36.4%、36.1%)が最も多くなっています。「わかりにくくなった」が最も多いのは療育手帳所持者(24.5%)で、次いで身体障害者手帳所持者(18.1%)となっています。

表 サービスのわかりやすさ

	全体		身体障害者手帳所持者		療育手帳所持者		精神障害者保健福祉手帳所持者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
わかりやすくなった	68	3.6%	33	3.1%	23	3.0%	22	8.3%
わかりにくくなった	347	18.4%	194	18.1%	190	24.5%	40	15.0%
変わらない	624	33.2%	314	29.2%	282	36.4%	96	36.1%
無回答	842	44.8%	533	49.6%	279	36.0%	108	40.6%
合計	1,881	100.0%	1,074	100.0%	774	100.0%	266	100.0%

資料：東大阪市「障害者ニーズ調査」（平成20年）

## ● 経済的負担

障害者ニーズ調査の結果から経済的負担についてみると、無回答を除いて、「変わらない」が29.5%で最も多く、次いで「増えた」(24.5%)となっています。

手帳別にみると、無回答を除いて、身体障害者手帳所持者と精神障害者保健福祉手帳所持者では「変わらない」(27.6%、42.1%)が最も多くなっていますが、療育手帳所持者では「増えた」(35.8%)が最も多くなっています。

表 経済的負担

	全体		身体障害者手帳所持者		療育手帳所持者		精神障害者保健福祉手帳所持者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
増えた	461	24.5%	233	21.7%	277	35.8%	38	14.3%
減った	67	3.6%	38	3.5%	32	4.1%	12	4.5%
変わらない	555	29.5%	296	27.6%	202	26.1%	112	42.1%
無回答	798	42.4%	507	47.2%	263	34.0%	104	39.1%
合計	1,881	100.0%	1,074	100.0%	774	100.0%	266	100.0%

資料：東大阪市「障害者ニーズ調査」（平成20年）

### ● 今後利用したい障害福祉サービス・地域生活支援事業

障害者ニーズ調査の結果から今後利用したい障害福祉サービス・地域生活支援事業についてみると、「移動支援（ガイドヘルプ）」が32.7%で最も多く、次いで「居宅介護（ホームヘルプ）」（24.3%）、「短期入所（ショートステイ）」（23.6%）となっています。

手帳別にみると、身体障害者手帳所持者では「移動支援（ガイドヘルプ）」（31.1%）が最も多く、次いで「居宅介護（ホームヘルプ）」（28.8%）となっています。療育手帳所持者では「移動支援（ガイドヘルプ）」（44.6%）が最も多く、次いで「短期入所（ショートステイ）」（41.7%）となっています。精神障害者保健福祉手帳所持者では「居宅介護（ホームヘルプ）」（34.2%）が最も多く、次いで「相談支援」（25.6%）となっています。

表 今後利用したい障害福祉サービス・地域生活支援事業（複数回答）

	全体		身体障害者手帳所持者		療育手帳所持者		精神障害者保健福祉手帳所持者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
居宅介護（ホームヘルプ）	458	24.3%	309	28.8%	124	16.0%	91	34.2%
重度訪問介護	170	9.0%	153	14.2%	54	7.0%	10	3.8%
行動援護	320	17.0%	193	18.0%	145	18.7%	25	9.4%
重度障害者等包括支援	111	5.9%	89	8.3%	43	5.6%	6	2.3%
短期入所（ショートステイ）	443	23.6%	212	19.7%	323	41.7%	28	10.5%
児童デイサービス	78	4.1%	27	2.5%	65	8.4%	3	1.1%
療養介護	150	8.0%	114	10.6%	54	7.0%	20	7.5%
生活介護	294	15.6%	186	17.3%	160	20.7%	31	11.7%
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	291	15.5%	166	15.5%	162	20.9%	35	13.2%
就労移行支援	159	8.5%	47	4.4%	95	12.3%	27	10.2%
就労継続支援（A型）	121	6.4%	35	3.3%	72	9.3%	23	8.6%
就労継続支援（B型）	135	7.2%	31	2.9%	88	11.4%	23	8.6%
旧法施設支援	112	6.0%	36	3.4%	82	10.6%	18	6.8%
施設入所支援	115	6.1%	64	6.0%	82	10.6%	4	1.5%
共同生活介護（ケアホーム）	160	8.5%	65	6.1%	116	15.0%	17	6.4%
共同生活援助（グループホーム）	196	10.4%	53	4.9%	146	18.9%	28	10.5%
移動支援（ガイドヘルプ）	615	32.7%	334	31.1%	345	44.6%	37	13.9%
地域活動支援センターⅠ型への通所	81	4.3%	17	1.6%	25	3.2%	45	16.9%
地域活動支援センターⅡ・Ⅲ型への通所	124	6.6%	51	4.7%	77	9.9%	16	6.0%
日中一時支援（日中ショート、障害児タイムケア）	244	13.0%	120	11.2%	168	21.7%	18	6.8%
生活サポート事業	110	5.8%	58	5.4%	38	4.9%	20	7.5%
相談支援	279	14.8%	117	10.9%	132	17.1%	68	25.6%
コミュニケーション支援	40	2.1%	29	2.7%	6	0.8%	7	2.6%
日常生活用具の給付または貸与	288	15.3%	245	22.8%	90	11.6%	14	5.3%
訪問入浴サービス事業	101	5.4%	80	7.4%	36	4.7%	10	3.8%
その他	29	1.5%	19	1.8%	8	1.0%	7	2.6%
有効回答数	1,881	100.0%	1,074	100.0%	774	100.0%	266	100.0%

資料：東大阪市「障害者ニーズ調査」（平成20年）